

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（754））
2. 日時：平成30年3月9日 19時15分～20時20分
3. 場所：原子力規制庁 8階実用炉審査部門横会議室
4. 出席者
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
伊藤安全審査官、竹田安全審査官、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 副室長（他4名）

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、本日提出のあった『東海第二発電所「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について』を用いて、「58条 計装設備」及び「1.15 事故時の計装に関する手順等」について説明があった。原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

- 耐圧強化ベント監視に係る放射線モニタの重要代替計器について、多重化の要否を整理して提示すること。
- 原子炉建屋内の水素濃度計について、種類及び設置場所を整理して提示すること。

6. その他

提出資料：

- ・ 東海第二発電所「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について